

講義名	経営情報論		
講義開講時期	通年		
単位数	4		
学習目標 (到達目標)	「情報技術による情報システム」によって展開される組織の情動的相互作用と、個々の人間固有の情報処理能力を駆使することによって展開される組織の情動的相互作用を、組織全体として整合性のあるものにする方法やあるべき方向を描く、素養を学習すること。		
授業概要 (教育目的)	情報経営論を学びながら、職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的知識をもち、ITを活用してゆく人材を育成すること。		
授業計画表	回	項目	内容
	第1回 (4/16)	経営情報論の概要	ガイダンス：講座の進め方、評価方法の説明。 教科書(1)第一章：情報の概念。
	第2回 (4/23)	目標テスト	ITパスポート試験を題材に、学習レベルの目標設定をする。
	※休講 (5/7)		
	第3回 (5/14)	経営情報論の基礎	教科書(2)第1章
	第4回 (5/28)	経営情報論の基礎理論	教科書(2)第2章
	第5回 (6/4)	経営情報システムの変	教科書(2)第3章
	第6回 (6/11)	情報通信技術の進展	教科書(2)第4章
	第7回 (6/18)	開発技術	参考書(1)M1章
	第8回 (6/25)	プロジェクトマネジメント	参考書(1)M2章
	第9回 (7/2)	サービスマネジメント	参考書(1)M3章
	第10回 (7/9)	データベース	参考書(1)T2-3①-3
	第11回 (7/16)	ネットワーク	参考書(1)T2-3②-4
	第12回 (7/23)	セキュリティ	参考書(1)T2-3②-5
	夏期休暇		
	第13回 (9/17)	中間テスト	ITパスポート試験対策
	※休講 (9/24)		
	第14回 (10/1)	経営情報システムの設計・開発	教科書(2)5章
	第15回 (10/8)	経営情報システムの管	教科書(2)6章
	第16回 (10/15)	情報通信技術とビジネス・プロセス革新	教科書(2)7章
	情報処理試験 (10/16)		
	第17回 (10/22)	ネット・ビジネス	教科書(2)8章
	三崎祭 (10/29)		
	※休講 (11/5)		
	第18回 (11/12)	情報通信技術と組織革新	教科書(2)9章
	第19回 (11/19)	情報通信技術と組織コミュニケーション	教科書(2)10章
	第20回 (11/26)	情報通信技術と社会	教科書(2)11章
	第21回 (12/3)	ネットワーク社会の諸	教科書(1)14章
	第22回 (12/10)	まとめと今後の展望	復習
	第23回 (12/17)	期末テスト	
	※休講 (12/24)		
	センター試験 (1/14)		
授業形式			
評価方法	定期試験	65%	
	レポート		
	小テスト	35%	不定期に実施する。
講義態度 (出席)			受講態度が著しく悪い者は、単位認定から外す。
その他			▼資格取得による特別加点 (1)ITパスポート(旧[初級]システムアドミニストレータ):30点 (2)ビジネスキャリア検定試験:30点 [2級]経営情報システム(情報化企画、情報化活用) [3級]経営情報システム (3)情報処理技術者試験:40点 [上級]システムアドミニストレータ、システムアナリスト、システム監査技術者、プロジェクトマネージャ (4)ITコーディネータ:40点 (5)技術士(経営工学、総合技術監理、情報工学):50点 (6)中小企業診断士第一次試験:50点
合計		100%	
評価の特記事項	出席は取らないが、小テストを不定期に実施する。 学事等の理由による欠席の場合、レポートによる加点を認める。		
テキスト			(1)高橋敏朗、はじめて学ぶ経営情報学(日科技連出版社) (2)渡山暁・村田潔・岸眞理子共著、新版経営情報論(有斐閣アルマ)
参考文献			(1)情報化交流会編、ITパスポート試験標準教本2010→2011年版(日本経済新聞社)
オフィサー (授業相談)	講義後		メールにて対応。スパムメールと見紛わないよう、適切なタイトルとし、先頭に[NUCE]、学籍番号を付けること。 記載例: [NUCE]312614、課題提出-第3講 経営情報システムの変遷 ▼メール:shoichi.sato@nifty.com, FAX:03-6369-3030
準備学習の内容など、学生へのメッセージ	既存知識を学ぶことで、ユニークな発想を持てる場としましょう。		
授業用URL			
参考URL 1			
参考URL 2			